

## クローズアップ租税行政法 第2版

著者 酒井 克彦 著

定価 2,916 円(税込) \*ファルクラム会員は 2,400 円(税込)

内容 租税法律関係において租税行政の果たすべき役割は大きく、本書は、租税法を行政的な視角から学習するために「租税行政法」として企画されたものです。租税行政法というくくりの中で、組織法的領域、手続法的領域を中心にまとめ、特に、実務家が押さえておかねばならない問題関心、とりわけ税務調査や租税手続などに重点をおいて構成しています。初版から4年。税務調査に関する手続きについての改正、マイナンバー制度の導入、資料情報制度の拡充、新しい加算税制度の創設など、新たに注目すべき租税行政法領域をめぐる動きを加えた新版です。

### 目次

第1章 租税行政法概論	第5章 納税環境整備
1 租税行政組織論	20 納税者保護論
2 租税行政の使命	21 電子申告・電子納税
3 法律による行政	22 資料情報制度
第2章 租税確定手続	23 共通番号制度
4 申告納税制度	24 納税相談
5 更正・決定	25 行政情報環境整備
6 更正の請求	26 税理士制度
7 理由附記	◇事項索引
8 青色申告制度・記帳義務	◇判例・裁決索引
9 推計課税	
10 附帯税	
第3章 税務調査	
11 税務調査の基礎知識	
12 質問検査権	
13 税務調査とプライバシー問題	
14 修正申告の勧奨	
15 信義則の適用	
16 守秘義務	
17 調査における立会排除	
第4章 滞納処分	
18 納付・徴収	
19 滞納処分	